

鹿児島大学農学部

OPEN CAMPUS 2018



8月5日(日)

※荒天中止の場合：8月19日(日)

受付

9:00~

鹿児島大学農・獣医共通棟 101 講義室前 (1階)

プログラム

時間	Aコース (会場：101 講義室)	Bコース (会場：204 講義室)
10:00	10:00~学部説明会 10:00~⑤ 農学部長挨拶, プログラムの説明 10:10~⑫ 農学部紹介 10:35~⑩ 入試説明会	※受付を, 101 講義室前 (1階) で済ませてから, 会場 (204号 (2階)) へ移動してください 10:00~12:00 研究室めぐり
11:00	11:00~⑳ 各学科の説明会 (教育内容と就職状況) (学科毎に分かれて実施します)	
12:00	12:20~④⑩ キャンパスライフセミナー (農学部学生による大学生活の紹介です。昼食 (弁当は持参) を取りながら参加可能です)	
13:00	13:00~体験入学各コース場所へ移動 (Aコース会場から実施場所へ案内します) 13:15~体験入学コース	13:20~学部説明会 13:20~⑤ 農学部長挨拶, プログラムの説明 13:30~⑫ 農学部紹介 13:55~⑩ 入試説明会
14:00		14:05~⑤ 特別コース 14:20~⑳ 各学科の説明会 (教育内容と就職状況) (学科毎に分かれて実施します)
15:00		15:00~④⑩ キャンパスライフセミナー (農学部学生による大学生活の紹介です)

※体験入学コース, 研究室めぐり, 各学科の説明会は別会場にて実施します。担当者が案内しますので, 10分前までに各コース会場へ集合してください。

体験入学コース（Aコース）

講義，実験，実習等，大学での学びを直に体験して，農学部を知っていただくコースです

	コース・担当・(定員)	概要
工 コ 探 検 隊	[森林・山地観察コース] 桜島の火山活動ー植生遷移と災害対策ー [担当]畑 邦彦 准教授，寺本行芳 准教授（農林環境科学科） （定員 20人）	桜島では活発な火山活動が続いています。それによる土砂災害に対し、様々な対策がなされています。また、桜島の広い地域を溶岩が覆っており、そこでは様々な遷移の過程の植生を見ることができます。桜島を舞台に、火山活動が森林の生態系に及ぼす影響や土砂災害に対する取り組みを実感してみましょう。【注意】熱中症対策を各自十分に行ってください。また、野外を歩ける靴（運動靴、スニーカー）を用意して下さい。スカートよりズボンを着用したほうが無難でしょう。天候により中止する場合があります。（実施時間：13:15～16:30）
	[バイオ燃料ー探検コース] 廃食用油からエネルギーを取り出そう [担当]岩崎浩一 教授，末吉武志 助教（農林環境科学科） （定員 12人）	天ぷら油などの使用済みの食用油をエステル化した廃食用油エステル化燃料は、軽油と類似した性質を持ち、「バイオディーゼル燃料」として注目されています。この燃料はバイオマス由来のエネルギー資源ですので、環境に優しい特徴を持っています。このコースでは、使用済みの食用油をエステル化し、エネルギーとして取り出すプロセスを体験します。 【注意】実験で使用する薬品・廃食用油等が服に付着する場合がありますので、汚れて困る服装での参加は避けて下さい。（実施時間：13:15～16:15）
	[土と水の実験体験コース] 土の中を流れる水の法則を探る [担当]羽井和朗 教授，肥山浩樹 准教授，伊藤祐二 准教授（農林環境科学科） （定員 10人）	農業に必要な水の量はどのように決めるのでしょうか。地面の中にある汚染物質はどこまで広がるのでしょうか。山肌に浸みこんだ雨水はどれだけの時間をかけて海に流れ込むのでしょうか。これらは土の中を流れる水の法則を知ることで計算できるようになります。模型化した簡単な装置で実験を行って、この法則を探ってみましょう。（実施時間：13:15～16:30）
	[農林環境科学科大学の講義体験コース] 環境について考えよう [担当]寺岡行雄 教授，神田英司 准教授，奥山洋一郎 助教（農林環境科学科） （定員 30人）	大学の講義を体験してみましょう。今回は農林環境科学科の教員による、環境に関する3つのトピックスを取り上げた講義を体験できます。 （1）地球温暖化対策に役立つバイオマス （2）農業と環境の関わりについて考えよう （3）森林経営ゲームで遊ぼう 環境について農学部でどのような勉強ができるのか、将来の仕事のイメージも含めてお話ししたいと思います。（実施時間：13:15～16:15）
バ イ オ 探 検 隊	[食品栄養コース] 食品がもつ機能性 [担当]イブラム ヒッサム 教授，宮田健 准教授（食料生命科学科） （定員 20人）	みなさんが普段の生活の中で摂取する食品のなかには「優れた機能」を持った成分が存在しています。こういった有用な成分に注目して研究することは、新しい機能性食品や医薬品の開発にも役立つのです。今回の実験では実際に、食品の一例として卵を用いて、どのような機能性があるか調べてみましょう。【注意】服装等には規制はありませんが、実験をしやすい（動きやすい）格好で来て下さい。（実施時間：13:15～16:15）
	[醸造コース] 造ってみよう！芋焼酎 [担当]二神泰基 准教授，吉崎由美子 准教授，奥津果優 特任助教（食料生命科学科） （定員 12人）	焼酎造りを体験してみませんか？あの甘いさつまいもが、なぜ酔っぱらう「焼酎」に変わるのか？・・・その不思議について実際に焼酎を造りながら考えてみましょう。そして焼酎造りの中で働いている酵母と麹菌のことについて学びましょう。【注意】髪が長い人は、髪をまとめられる準備をしてきて下さい。（実施時間：13:15～16:30）
	[畜産科学コース] ニワトリを解剖してみよう ー筋肉のマクロからミクロまでー [担当]大塚 彰 教授，後藤貴文 教授，井尻大地 准教授（農業生産科学科） （定員 10人）	ステーキなどの肉料理は大変美味しいのですが、肉＝筋肉を食べていると認識している人は意外と少ないものです。このコースではニワトリを解剖して、どの部位の筋肉を食べているのかを知り、1羽からどれくらいの筋肉が取れて価格がいくらになるのか、そこから農家はどれくらいの利益が得られるのかを学んでみましょう。そして筋肉の構造はどうなっているのか、細胞内のミクロのレベルで観察してみましょう。【注意】ニワトリの解剖を見学しますので、血や臭いが苦手な方はご遠慮ください。（実施時間：13:15～16:30）

	コース・担当・(定員)	概要
ア グ リ 探 検 隊	[作物コース] 作物の潜在能力を探ろう [担当]一谷勝之 准教授, 下田代智英 准教授 (農業生産科学科) (定員 16人)	皆さんはイネやアワの花や実を見たことがありますか。アワにもお米と同じように糯(モチ)があることを知っていますか。真夏の田んぼでは実りの準備がされていることを知っていますか。実際の作物を材料に生育や成分について学んでみませんか。【注意】農場見学を含むので、暑さ対策、日焼け対策、散策に適した足回りの準備をお願いします。(実施時間: 13:15-16:00)
	[園芸コース] 美味しい果実ってどんな味? ~ 果実の糖度と酸度を測ってみよう [担当]香西直子 講師 (農業生産科学科) (定員 12人)	皆さんが食べて「甘い」と思う果物には、どれくらいの糖分が含まれているのでしょうか。また、「酸っぱい」と思う果物には、どれくらいの酸が含まれているのでしょうか。この実験では、色々な果物を使って、食味の決め手となる糖度と酸度を測定します。そして実際に食べたときの感覚と比べてみましょう。(実施時間: 13:15~16:15)
	[土壌肥料コース] 土の種類によって肥料の効き方は違うのか? ~簡単な化学実験を通して考えてみよう~ [担当]赤木 功 助教 (食料生命科学科) (定員 10人)	リンは植物の生育に必要な不可欠な栄養元素の一つですが、土はこのリンを吸着・固定して、植物が利用できにくくする性質(リン吸着能)をもっています。この性質は作物を生産する上で大きな障害となり、かつて、肥料が広く普及する以前は、南九州をはじめとする日本の多くの農業生産者を苦しめてきました。このコースでは、南九州のさまざまな土のリン吸着能の違いを、簡単な化学実験を通して体験します。(実施時間: 13:15~16:15)
	[国際食料資源学特別コース] 世界の食料・資源とその問題 [担当]坂上潤一 教授, 藪田 伸 特任講師 (国際食料資源学特別コース) (定員 30人)	日本では海外文化への興味の高まりから、多様な国々の食事が提供されており、口にすることも珍しい事ではありません。ですが、それらは「国を代表する料理」であっても「国を支える人々の食事」とは限りません。本講義では世界の人々の胃袋を満たす作物に焦点を当て、地域ごとの特色を紹介します。(実施時間: 13:15~15:00)

研究室めぐり (Bコース)

希望する学科毎に分かれて、実際の研究室を見学していただくコースです

農学部構内には、農・獣医共通棟、3つの研究棟(C棟,D棟,E棟)、附属農場、焼酎・発酵学教育研究センター(北辰蔵)など様々な教育・研究のための施設があります。

研究室めぐりは、農業生産科学科、食料生命科学科、農林環境科学科の3つの学科の見学コースに分かれ、参加者の皆さんには、学科に関連するいくつかの研究室や施設を訪問して頂きます(学科によって見学コースは異なります)。各研究室で行われている実験研究がどのような目的で行われているのか、その実験で何が分かるのかなどについて、担当の教員や実際に機器を利用している学生から説明します。

また、農学部での勉強や学生生活などについて学生から話を聞いて頂くことができ、農学部の教育・研究の雰囲気を感じて頂ける良い機会です。

申込方法

- ・体験入学コース、研究室めぐりは事前申込みが必要です(定員になり次第締め切ります)。
なお、お1人につきAコースとBコースの重複申込みは不可としますので、ご了承ください。
- ・鹿児島大学ホームページからWebによりお申込みください(7月上旬頃から申込み受付:無料)。

お問い合わせ/農学部・共同獣医学部等学務課学生係 TEL 099-285-3553

〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目21番24号 <http://www.vet.kagoshima-u.ac.jp/index.html>